



チーム出東

出東小学校 令和7年度学校だより NO.17 1月27日号 文責：秦 康人



夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



やさしい子

人権集会をしました

今年度の人権週間は12月4日(木)～12月10日(水)で、本校では例年12月初～中旬に「人権集会」を行ってまいりました。今年度も当初は12月15日に計画していましたが、インフルエンザの流行による学級閉鎖があったため、年をまたいで1月22日(木)に延期して実施しました。今回のテーマは「おもいやりのある言葉をあつめよう」です。



はじめに、各学級が2学期末から取り組んできた「思いやりのある言葉集め」の結果を発表しました。「こんな時にその言葉を言われてうれしかった」などのエピソードと一緒に発表をしたので、温かい気持ちがよく伝わりました。

次は人権作文の表彰と発表をしました。代表の子が前に出て作文発表をしました。「身近にある人権」について、自分の考えをよく書き表していました。

最後に「ほかほか言葉対決ゲーム」と「言葉あつめゲーム」の2つを行いました。言われてうれしい「ほかほかことば」を言い合ったり、カードを組み合わせて作ったりしました。この集会をきっかけにして、今まで以上に思いやりの気持ちを意識して生活するようにしたいと思います。

ふるさとを愛する子

3年生しめ縄づくり体験

3年生は総合的な学習の時間で「しめ縄」に関する学習をしています。今年度も出東地区にお住まいの錦織さんを講師にお招きして、1月16日(金)には、しめ縄に関するお話をしていただき、1月23日(金)には、実際にしめ縄を作る体験をしました。

体験では、作り方を教えてもらってから、3人が1組になり、真菰(まこも)をねじって重ねながら縄をなっていきました。錦織さんにも手伝ってもらいましたが、自分たちで力を合わせながら完成させることができました。



材料の真菰は、以前は宍道湖岸で真菰を採っていたそうですが、今は町内を流れる新建川の川岸が良く採れるということでした。全国的に有名な出雲大社のしめ縄は、160年前の元治元年(1864年)から出東地区で作って奉納しています。しめ縄づくりは地域の大切な宝の一つであり、このような宝を支える人々の工夫や努力に気づくことは、「ふるさとを愛する子」の育成には大切であると考えます。

新しい職員の紹介

1月27日(火)から、梶谷美湖教諭が産前休暇に入り、補充として三島博美非常勤講師が勤務をしますので、お知らせします。

なお、三島非常勤講師の勤務は主に午前の勤務となりますので、よろしくお祈りいたします。

2学期制の導入について

出東小学校は 次年度（令和8年度）から「2学期制」を導入します。

☆2学期制の導入により、教育活動全般に時間的・精神的な「ゆとり」を生み出すことで、通常の学習をこれまで以上に充実させたり、教師と児童がふれ合う時間が増えたりすることができ、より丁寧で、きめ細やかな指導ができるようになると思います。

—2学期制に関するQ&A—

Q.1「2学期制とは？」

A. 年間の授業日数（およそ200日程度）を、前期と後期の2つの学期（それぞれ100日程度）に分ける制度です。年間の授業日数は現行の3学期制と変わりません。

※これまでは「1学期・2学期・3学期」と呼んでいましたが、次年度以降は「前期・後期」と呼びます。

Q.2「前期・後期の分け方は？」

A. 来年度は10月の「スポーツの日」を含む三連休の前後で学期を分けて実施します。

※令和8年度の場合
 前期：4月1日（水）～10月9日（金） 授業日数は96日
 後期：10月13日（火）～3月31日（水） 授業日数は102日

Q.3「長期休業は？」

A. 現行と変更ありません ※出雲市内の学校は、学期を分ける「秋休み」を配置しない場合が多いです。

※令和8年度の現時点での案

- ・学年始休業 4月1日～4月7日
- ・夏季休業 7月18日～8月30日
- ・冬季休業 12月26日～1月7日
- ・学年末休業 3月25日～3月31日

学期及び通知表2期制の年間スケジュール													前期終業式・後期始業式	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
学期	前期						後期							
行事等	春休み	入学式	陸上大会	運動会	宿泊研修	夏休み	修学旅行		成果発表会	冬休み	成果発表会	卒業式	春休み	
評価	前期の評価期間						後期の評価期間							
通知表							作成準備	配付					作成準備	配付
個人面談							面談					面談		

Q.4「2学期制導入による変化は？」

A. 子どもたちの毎日の学校生活は大きくは変わりません

- ・学校では2学期制に合わせた年間スケジュールを組み直し、子どもたちはこれまで通り計画的に授業や行事に取り組むこととなります。運動会や学習成果発表会も今年度同様に実施します。
- ・授業の進め方が調整しやすくなることで、子どもの理解度・到達度に応じた補充や発展学習を取り入れやすく、より丁寧な指導を行うことができます。
- ・行事を配置しにくかった長期休業前の7月や12月にも行事を計画しやすくなり、行事の分散化や特色ある学校づくりに生かすことができます。また、子どもたちは夏季休業、冬季休業直前まで落ち着いて学習に取り組むことができます。
- ・これまで各学期末に行っていた成績処理や事務処理の回数が減り、教師に時間的なゆとりが生まれることで、児童にじっくりと向き合うことができ、今まで以上に子どもへの個別の支援や対応に力を注ぐことができます。

Q.5「通知表はどうなる？」

A. 今年度と同様、10月初めと3月末にお渡しします。また、7月と12月に個人面談を設定し、子どもの学習面や生活面、諸活動の様子について保護者と情報共有します。その時点までの取組状況を踏まえて、長期休業中の学習や生活についても話し合います。

今年度、市内の多くの学校が2学期制を実施しており、次年度は更に増える見込みです。斐川町の小学校4校は、次年度、足並みを揃えて2学期制にします。